

論壇

コロナ対策で最大限提示

米国でバイデン政権がスタートした。就任式の実況をインターネットで何時間も見ることになってしまったが、世界が大きく変わることを実感させられた。気候変動問題への前向きな取り組み、貧困層への手厚い支援、世界保健機関(WHO)やイラン核合意などの国際的な取り組みへの復帰など、トランプ政権で破壊された流れが復旧することが期待される。そうした中で注目すべきなのが、コロナ危機の中のさらなる経済刺激策である。膨大な資金が国民への所得移転や景気対策に

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

使われるようだ。元々、バイデン政権を支える民主党は大きな政府を是としてきた。今回の選挙で議会の両院で民主党が主導権をとったので、こうした財政拡大の路線は順調に推移していくだろう。

膨大な数の人が死亡し、感染者はいまだに増え続けているという

バイデン政権の景気刺激策

ウイルスとの戦争を切り切るためには、財政政策による刺激を最大限に活用する必要がある。その意味ではバイデン政権が最大限の景気刺激策を提示しているのは好ましいことである。これは日本の政策についても求められることだ。

ただ、それではコロナとの戦争の後では経済がどうなるのか。考へはじめてもそこに及んでしまふ。歴史をひもとくと、大きな戦争の後には、多くの国で深刻なインフレが起きることになる。膨大な規模に膨れ上がった政府の借金を、増税や歳出削減だけで解消しようとするのは無理な話であ

国債を、そして米国のFRBは米国の国債を買い続けることによって資金を市場に注入している。国債の大量発行によって金利が急上昇することがないように、景気回復の過程でも金融緩和を続ける姿勢を示している。

高齢者インフレに備えを

経済学の世界でヘリコプターマネーの例えがある。政府が上空から大量の現金をばらまくという行為である。そうすれば皆がそのお金を使うのでインフレになるというものだ。このヘリコプターマネーには二つの要素がある。一つは経済に大量のお金が出されるということ、そしてもう一つはそれで支出が増えるということだ。今、コロナとの戦いの中で主要国の政

府が行おうとしているのは、まさにこのヘリコプターマネーと同じことだ。

繰り返しになるが、こうした政策は必要である。ウイルスとの戦争である。それに応じた大胆な経済政策が必要である。さもないと経済はさらに厳しいことになる。

ただ、戦後の経済のことに今から考えを巡らせておく必要がある。インフレによって大きな被害を受けるのは、貯蓄と年金で生活をしていくにはいけない高齢者である。高齢者の方々にはインフレになった時自分の生活をどう守るのか考えてほしい。簡単な答えがすぐあるはずではないが、経済の講演会などに足を運んだり本を読んだりして、じっくり考える機会を持つてはどうだろうか。